



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月14日

上場会社名 昭和鉄工株式会社 上場取引所 福
 コード番号 5953 URL <https://www.showa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日野宏昭
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上級執行役員 (氏名) 尾島孝則 (TEL) 092-933-6390
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	8,749	18.0	△243	—	△123	—	△72	—
2022年3月期第3四半期	7,413	△8.9	△398	—	△369	—	△379	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 379百万円(—%) 2022年3月期第3四半期 △635百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	△88.44	—
2022年3月期第3四半期	△460.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	15,202	5,364	35.3
2022年3月期	14,796	5,025	34.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 5,364百万円 2022年3月期 5,025百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,300	14.6	260	—	340	—	260	—	315.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	897,000株	2022年3月期	897,000株
2023年3月期3Q	73,003株	2022年3月期	72,882株
2023年3月期3Q	824,056株	2022年3月期3Q	824,159株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続くなか、各種政策の効果もあり、持ち直しの動きもみられましたが、原材料価格の高騰や急激な為替変動等、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような情勢の中で当社グループは、直面する問題である新型コロナウイルス感染症対策として、引き続き、安全衛生管理の徹底や健康への配慮を最優先に、営業・製造・サービス活動への影響に対するモニタリングを強化し、刻々と変化する状況に迅速かつ適切に対応してまいりました。

また、2022年度を最終年度とする中期経営計画「全社横断の改革を実行し“140”へ向かおう！」を掲げ、2022年度に連結売上高140億円以上、連結売上高営業利益率5%以上を実現するため、

■全体最適化と人材育成を加速させる体制づくり

■実践的な生産性改革の推進

■全社一丸での事業収益の拡大

の重点課題に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は87億4千9百万円(前年同期比18.0%増)、営業損失は2億4千3百万円(前年同期は営業損失3億9千8百万円)、経常損失は1億2千3百万円(前年同期は経常損失3億6千9百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は7千2百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失3億7千9百万円)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

・機器装置事業

機器装置事業につきましては、売上は、空調機器、熱源機器、サーモデバイス機器等ほぼ全製品群において好調に推移しましたが、利益については、原材料価格高騰等の影響により、前年同期比で微増となりました。

その結果、当事業の売上高は49億9千5百万円(前年同期比17.9%増)、営業損失は3億7千2百万円(前年同期は営業損失4億3百万円)となりました。

・素形材加工事業

素形材加工事業につきましては、特殊鋳造品が低調に推移しましたが、景観製品は好調に推移しました。

その結果、当事業の売上高は12億8千3百万円(前年同期比3.4%増)、営業損失は6千2百万円(前年同期は営業損失8千9百万円)となりました。

・サービスエンジニアリング事業

サービスエンジニアリング事業につきましては、設備工事及び有料サービスが好調に推移し、売上・利益ともに大幅に増加しました。

その結果、当事業の売上高は24億7千万円(前年同期比27.6%増)、営業利益は1億9千1百万円(前年同期比103.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4億5百万円増加し、152億2百万円となりました。主な要因は、商品及び製品が2億9百万円、仕掛品が2億9千7百万円、投資有価証券が5億1千1百万円増加した一方、現金及び預金が7億6千3百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ6千7百万円増加し、98億3千8百万円となりました。主な要因は、電子記録債務が8千1百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3億3千8百万円増加し、53億6千4百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が4億1千2百万円増加した一方、利益剰余金が1億1千4百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期の連結業績予想につきましては、2022年5月11日公表時から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,888	2,125
受取手形、売掛金及び契約資産	2,821	2,748
電子記録債権	982	1,155
商品及び製品	125	335
仕掛品	1,169	1,466
原材料	405	525
その他	77	60
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	8,467	8,414
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,584	1,584
その他(純額)	1,931	1,902
有形固定資産合計	3,515	3,486
無形固定資産		
	87	67
投資その他の資産		
投資有価証券	2,679	3,191
その他	76	69
貸倒引当金	△30	△26
投資その他の資産合計	2,725	3,234
固定資産合計	6,328	6,788
資産合計	14,796	15,202
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	923	941
電子記録債務	1,956	2,037
短期借入金	3,050	3,250
未払法人税等	35	37
その他	922	1,015
流動負債合計	6,887	7,282
固定負債		
長期借入金	525	250
退職給付に係る負債	1,573	1,489
繰延税金負債	262	321
その他	522	494
固定負債合計	2,883	2,555
負債合計	9,770	9,838

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,641	1,641
資本剰余金	1,226	1,226
利益剰余金	1,591	1,476
自己株式	△130	△130
株主資本合計	4,327	4,213
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	846	1,258
退職給付に係る調整累計額	△148	△107
その他の包括利益累計額合計	697	1,150
純資産合計	5,025	5,364
負債純資産合計	14,796	15,202

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	7,413	8,749
売上原価	6,003	7,098
売上総利益	1,410	1,651
販売費及び一般管理費	1,808	1,894
営業損失(△)	△398	△243
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	96	140
受取ロイヤリティー	3	14
その他	43	19
営業外収益合計	143	174
営業外費用		
支払利息	27	26
為替差損	13	15
持分法による投資損失	54	-
その他	19	12
営業外費用合計	114	54
経常損失(△)	△369	△123
特別利益		
投資有価証券売却益	18	17
特別利益合計	18	17
特別損失		
関係会社出資金売却損	54	-
特別損失合計	54	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△404	△106
法人税、住民税及び事業税	22	22
法人税等調整額	△47	△55
法人税等合計	△25	△33
四半期純損失(△)	△379	△72
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△379	△72

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純損失(△)	△379	△72
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△238	412
退職給付に係る調整額	28	40
持分法適用会社に対する持分相当額	△45	-
その他の包括利益合計	△256	452
四半期包括利益	△635	379
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△635	379
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。